

ちくし 法律事務所

The guardians of Rights
2019 NEW YEAR NEWS



Breeze I Keisuke Oba ©

「過去・現在・未来 風に乗って向かう先は・・・」

ペーパー・スクリーン版画 大場 敬介



弁護士
稲村 晴夫

Haruo Inamura

現天皇の退位により二〇一九年四月で三〇年続いた平成の時代は終わることになる。当事務所にとつてこの三〇年はどんな歲月だっただろうか。

当事務所は昭和五九年私が二日市で開業したことに始まる。平成元年（一九八九年）には、伊黒忠昭弁護士が入所し、私と浦田・伊黒の三人体制となった。平成十二年以降徐々に人員も増えてゆき、平成二十二年には現在の南部ビルに移転し、現在では弁護士八名、事務局十名となっている。この三〇年間に事務所の規模は拡大してきたことになる。

私事になるが、平成元年には私は三七才であった。この三〇年間で私が最も力を注ぎ、苦勞した事件は筑豊じん肺訴訟と中国人強制連行・強制労働事件であった。筑豊じん肺訴訟は最終全面解決まで約二八年を要した。中国人強制連行は提訴以来二八年を経過した現在やうと三菱マテリアルとの間で全面解決をはかる目途がついたところであり、これからも取り組みは続く。三〇年の歳月は長いようで短い。ましてや私のような非才の弁護士が生のうちに行える仕事は極めて限られていることに今更ながらに気付く。

しかし、この間に多くの人々と出会い、活動し、喜び苦しみ怒りを共にしてきたことが私の財産である。この三〇年間事務所を支えて下さった多くの皆様から感謝申し上げます。

平成の次の世は果たしてどんな時代となるのだろうか。私達はどんな社会未来を築いてゆけるのだろうか。当事務所が次の世も地域の皆様によき相談相手であり、信頼されるパートナーであり続けるため所員一同努力してゆきたいと思う。

本年もご支援の程よろしくお願い致します。

寄稿

2018夏「憲法講演会」開催

平和を愛し戦争を許さない太宰府市民の会

代表 森田 正嗣

Masatoshi Moriwa



プロフィール

2016年まで8年間太宰府市白川区自治会長を務める

2015年太宰府市市議会議員当選

2018年行政書士事務所開設

趣味は登山、釣り(かつぱれ)。

「平和を愛し戦争を許さない太宰府市民の会」は、2018年8月、南野森 九州大学法学部教授をお招きして、憲法講演会を開催した。テーマは「憲法とは何かを考える(副題…最近の憲法政治を振り返りつつ)」であった。かかるテーマの後援会を太宰府市の市民団体が開催するのはおそらく初めてのことである。

開場前においては、来場者の集まり具合や、講演会としての成功について

非常に気になっていたところであった。しかし、実際には、300人を超える市民の参加をいただき、かつ、アンケートによれば、良かったとの評価をいただき、胸をなでおろしているところである。原因を探れば、市民の中に、憲法の理想と現実をどう埋めればよいのかということに真摯に考えておられる方々が多かったのではないかと、そして、南野先生の憲法の仕組みを説くお話しが非常に分かりやすく、来場者の方々に理解しやすかったのではないかと考えている。

さて、当会は、現時の政治において、安倍内閣と与党が推し進める集団的自衛権の行使容認という政策強行に、日本国憲法9条を事実上無力化しようとする意図を感じ、憲法9条を守ろうという旗印のもと、平和活動を行うことを目的として平成29年1月に結成された。

本会の活動を支える呼びかけ人として、太宰府市内在住の、大学教授、法律専門職、教員職員、労組職員、お寺の住職、キリスト教牧師、芸術家、市議会議員、県議会議員など20名を超える方々に参加をいただいた。この関係で、本会を強力に推し進めていただいた、ちくし法律事務所所長の稲村先生には、大変お世話になった。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

憲法を、国家権力を制限する規範たらしめるものは、何よりも国民自身の監視と権利行使である旨を、南野先生も指摘された。当会も、市民に呼び掛けて、憲法9条を維持し、9条の実効性を確保できるように活動を発展させてゆきたい。

まずは、憲法9条に自衛隊条項を盛り込むという現内閣のもくろみを、阻止することを当面の活動指針としてがんばってゆきたい。

寄稿

「立花宗茂と私」

黒木文康司法書士事務所 代表

司法書士 黒木 文康

Kaoyuan Kanuki



太宰府は四王寺山の山頂ちかくに岩屋城跡がある。高橋紹運が北上する島津軍と激戦のすえ玉砕したところだ。その子は立花宗茂という戦国大名である。私が尊敬する人物の一人である。今の愛知県出身のあの最も有名な三人は別にして、他の有名な戦国大名と比べてみても全国的には知名度は低いと思う。私は宮崎出身で、今の柳川市あたりを治めた宗茂のことをきちんと知ったのは福岡に来てからのことだ。彼もまた元々、最盛期には九州の北半分を支配した大友宗麟の家来で、父の高橋紹運だけでなく養父の立花道雪も大友家で最も頼りになる武将であった。

戦国後期、島津氏が九州全土を席巻する中、居城の立花城を大軍で囲まれるも、主家の大友家を見限ることなく

何とか持ちこたえた。大友が助けを請い、援軍にきた秀吉に西日本第一の武将と言わしめた。

その才能を秀吉から認められ、十三万石の大名として柳河城主となった彼は、豊臣家のために尽力する。その最たる出来事が朝鮮出兵の最中、全滅の危機にあった加藤清正軍を他の武将が躊躇する中、唯一救けに行ったことである（恩義を感じた清正は、宗茂改易後その面倒を見る）。

関ヶ原の戦いにおいては、大名にしてくれた豊臣家へのご恩に報いるため西軍に付く。宗茂自身は関ヶ原の戦い合戦当日、主戦場にはおらず、東軍方の琵琶湖に面した難攻不落の大津城を何とか攻略した。城を攻撃した一万五千人の精兵が主戦場にいれば西軍が勝っていたという人もいる位。宗茂を戦場にさせなかったという理由で大津城にいた京極氏は後々家康から大いに称賛される。その一方家康は、宗茂が退却時に庶民の生活に支障が出るという理由で、橋を落とさなかったことで、宗茂に一目置くようになる。

戦後、改易（お家取りつぶし）となつた彼は加藤家にしばらく身を寄せ

るが、その後、わずかな家来（十九名）を連れて京、そして江戸に出る。江戸に宗茂がいることを知った徳川幕府は警戒しつつも、人物として申し分ない彼を最初は秀忠の相談役としたが、しばらくして福島で一万石の大名として取り立て、その後、十一万石の大名として旧領の柳河に戻した。西軍に属し改易された大名の中で、唯一旧領に復した大名らしい。

社会情勢が目まぐるしく変化した戦国時代に、恩を受けた大友家や豊臣家に忠節を尽くした生き方は何とすかすがいい。

地元の柳川市や福岡県などは宗茂を主人公とする大河ドラマを招致する運動を始めている。何とか実現にこぎつけ、美しい四王寺山の映像が大河ドラマのオープニングで流れ、広く日本人の人々に彼のことを知ってもらい、われわれの心の糧になればと願うばかりである。



BaAR II Keisuke Oba ©

事件報告

「ひとすじの光を求めて」



弁護士
森 俊輔

Shunsuke Mori

結果、夫はたくさん不動産を持っていたことが分かったのですが、果たしてこの土地は、いくらなのか？が次の大問題です。私たちは、第一審で不動産の評価を行った鑑定士の元を訪問し、土地の評価に関する様々な意見をいただきました。裁判例、関連する基準、文献等の莫大な資料も読み漁りました。※ここには到底書き切れません。6時間ほど頂戴できればお話しします…。

ともあれ、私たちの結論はただ一つです。「やはり一審判決は、おかしい」合計で30ページを優に超える反論文書を作成した上で、逆転勝利をめざし、気持ちを高めていました。

その矢先の計報。夫が他界したのです。制度上、離婚訴訟の当事者が亡くなった場合には、直ちに訴訟が終了します。私たちの苦勞の結晶である書面が裁判官の目に触れる時間はほとんどないままに、事件は終了を迎えました。

しかし、まだ終わりません。今度は、亡くなった夫の遺産分割が問題になります。妻は、法的に見てまだ「妻

のままですから。離婚事件は、その様相を大きく変え、遺産分割（遺留分減殺）事件として私たちの前に立ち上がったのです。

今度は、裁判例、文献等の検討はもちろんのこと、遺産（遺留分）について複雑な計算をしなければなりません。相応に大きな桁の数字が立ち並び数字の森をかき分けて分与すべき財産を算出し、適切な財産分与を行うよう請求します。結果として、

妻とご依頼いただいたお子さんの一人に多額の支払いを受けることができました。離婚の第一審判決と比較すると2倍以上の金額です。

「弁護士」という職業は華やかなイメージをもたれがちです。もちろん、そのような側面もあります。その大半は、こういった地道な検討の積み重ねです。眠気と戦い、家族と一緒に時間を少し削ってでもこういった作業を頑張ることができると、光を求めた依頼者の方がそこに佇んでいるからなのでしょう。

「なんとかしてほしいんです」そう言ってお越しになった相談者は、夫との離婚訴訟（第一審）を3年半もの長きにわたって繰り返し、「光が見出せない」とかなりお疲れの様子。私と迫田弁護士は、離婚訴訟の控訴審（第二審）をお引き受けしました。問題となったのは、夫婦の財産をどのように分けるか（財産分与）です。このご夫妻は、30年ほど前から別居していたのですが、その別居時点に夫婦でどんな財産を持っていたのかが問題となります。しかし、30年も前の財産を調査することが、まず大仕事です。



BoAR Keisuke Oba ©

2019 NEW YEAR NEWS



井 護 士
浦 田 秀 徳
Hidetoshi Umeta

いよいよ退席です。昨年も同窓会が3つありました。みなさん、よい加減におじさんとおばさんです。そんななか、どの席でもいちばん若いと言われました。仕事にプライベートに挑戦をつづけることが秘訣かなと話しました。ことしもチャレンジをつづけたと思います。



井 護 士
迫 田 登 紀 子
Keisuke Oba

新人弁護士時代から関わっているハンセン病裁判の最終編、「家族」の裁判が結審しました。平成が終わろうとしている現代でも、ハンセン病元患者の子どもと知られれば、離婚に迫り込まれる現実があります。「家族」の差別問題も、学校のいじめ問題も、国や指導者が、空気を要する必要があると痛切に感じます。ハンセン病元患者の「家族」裁判は、今年に判決を迎えます。多くの方のご支援をいただけますように、心よりお願い申し上げます。



井 護 士
田 中 謙 二
Kenji Tanaka

平成ラスト！
平成3年の月9ドラマ「1001回目のプロポーズ」。武田鉄矢が演じた主人公は、人生の一度逆転を夢見て司法試験を受験した。平成3年度の司法試験は37倍の難関だったので、こんなドラマの展開も当時は違和感なし！

主人公の恋敵の二枚目バイオリニストは竹内力だったが、それも当時は違和感なし！ それで最終回の視聴率は37%で、チャゲアスが歌う主題歌「SAY YES」は280万枚の大ヒット！あれから約30年、自分自身を含めて、いろいろと変わっていったなあ……。



井 護 士
井 上 業 彩
Mari Asano

昨年11月、3245グラム元気な男の子を出産しました。名前は蒼空（そら）といいます。のびのび育ててあげたいです。私が子育てこんな可愛い存在なんだあと、しみじみ感じています。また、初めての出産や育児を経験して、改めて命の奇跡や肉親の愛情について実感する思いです。私にも守るべき存在が来たので、これからは仕事と育児の両立を目指して頑張っていこうと思っています。

しばらくお休みをいただきますが、平成31年4月から少しずつ復帰していく予定です。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後もしようとしてよろしくお願ひいたします。



井 護 士
山 野 和 也
Kazuya Yamano

2018年9月、入籍致しました。相手は、私が司法試験の勉強をはじめた後、温かい家庭を築いていきたいと思っています。数ヶ月の結婚生活を経て、「言葉」を伝える大切さを改めて感じています。付き合いが長いから言わなくても分かるとよさという姿勢のときはだいたい伝わらない。また、ありがたの気持ち、相手を労る気持ちは言葉にするのが大事だと感じます。新米夫が生意気なことを申していますが、同じ気持ちで20年後、30年後も持てるよう、精進したいと思っています。

まだまだ未熟な夫婦ですので、皆様方のご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



井 護 士
向 井 悠 人
Yuka Aoi

弁護士になって1年が過ぎようとしています。弁護士として、皆さまの抱えている悩みを解決する手助けをすることに喜びを感じるとともに、その責任の重さを日々ひしひしと感じているところです。

また、弁護士1年目にして、多くの人の前で、自分の考えを話す機会を与えられることもありました。そこは、新人弁護士であっても、自分の話を「弁護士」として聞いて下さる人のいる場でした。「弁護士」の職責の重さを痛感しました。2019年は弁護士2年目としてより成長できるよう気持ちを新たに誠心誠意頑張りたいと思います。



お薦めの映画

矢野

「ミッション:インポッシブル」
自分挑むトムのアクションには
毎回興奮しっぱなし!
文スパイ役のレベッカの美しきは一見の価値あり。



市原

「八年越しの花嫁」は、
家族や友人との、当たり前前の日常に
感謝するきっかけくれた
オススメの映画です。



入江

「僕のワンダフル★ライフ」
大好きにはたまらない映画です。
我が家のワンコたちがますます
愛おしくなりました。



佐々木

やっぱり「グレイテストショーマン」
日陰でひっそり過ごしていた人達が、
活々活々と輝き出す姿と、力強い音楽!!
何度観ても胸が熱くなります。



吉田

「エリンアロコピッチ」
かっこよくて感動して、とても好きな映画です。
随分前は見えきりなのでこの機会に
見返してみたいと思います。

行田

「ジャッジ 裁かれる判事」
判事の父親と弁護士の息子との確執と
父の起こした事件。
親子、兄弟、故郷等々、いろいろ考えさせられ
最後にじんわり温かくなるいい映画です。



藤

最近グッときたのは「ボヘミアンラアソディ」
Queenの楽曲が
胸に響きました。



堀下

何かないかと考えたのですが、
思いつきません(>_<)
とりあえず、今回オススメされている作品を
全部観てみようと思います。



原田

「大誘拐」
ストーリーの面白さはもちろんですが、
先日亡くなられた樹木希林さんの演技が最高。
もともと好きな女優さんでしたが、この映画で大ファンになりました。

セミナーのご案内

ちくし法律事務所では、平成23年秋から「セミナー」を定期的で開催しています。
身近で生活に役立つ法律のお話を、ちくし法律事務所の弁護士がわかりやすく解説いたします。
私たちとともに、おとなの手習いはじめてみませんか?
どなたでも参加でき、**受講は無料**です。事前の予約も必要ありません。お気軽にお越し下さい。
2019年の日程や会場は次のとおりのお予定となっております。

- | | | |
|------------------------|-----------------|-------------------------------------|
| ①2019年 1月23日(水)19時～ | 筑紫野市・生涯学習センター | 弁護士山野和也による「働く人のための法律知識」の講座 |
| ②2019年 3月19日(火)19時～ | 大野城市・まどかびあ | 弁護士田中謙二による「どうする?困ったお客様・クレマーへの対応」の講座 |
| ③2019年 5月24日(金)19時～ | 太宰府市・いきいき情報センター | 弁護士向井悠人による「交通事故」の講座 |
| ④2019年 7月 6日(土)10時30分～ | 筑紫野市・生涯学習センター | 弁護士迫田登紀子による「エンディングノート」の講座 |



T818-0056 福岡県筑紫野市二日市北1丁目1番5号
代表TEL 092-925-4119
代表FAX 092-925-4127
URL <http://www.chikushi-lo.jp/>

